

白書（案）変更箇所について

番号	変更箇所（ページ数）	変更理由
1	国の動向（P3）	前回の白書策定後に笹子トンネルの天井盤落下事故があり、国のインフラ老朽化対策関連の施策が推進されたため、その動向を背景として記載した。
2	計画の体系（P4）	国が定めるインフラ長寿命化基本計画の位置付けや、公共施設等総合管理計画、個別施設計画などの関係性を体系図として記載した。
3	市道区域外の削除（一）	歩道内の市道区域外の定義が曖昧で、現地と道路台帳図を確認し、歩道に組み込んでも問題ないという判断から、更新せず、項目を削除した。
4	警戒標識・その他標識（P65～68）	市内に設置されている警戒標識やその他標識（制限・路面凍結注意等）の台帳や厳密に維持管理されていないが、現地にも存在していることから、台帳から数量や位置を抜き出し、現況把握するために記載した。
5	道路反射鏡（P88～91）	市内に設置されている道路反射鏡の台帳や現地にも存在しており、維持管理費として毎年予算化もされているため、改めて台帳から数量や位置を抜き出し、現況把握するために記載した。（前回白書内の試算では『車道』の項目内に包括されていた）
6	立体横断施設等（P116～118）	ペDESTリアンデッキやエレベーター、エスカレーターについては、毎年維持管理を実施しており、使用頻度も高く、重要な道路施設であることから、改めて記載した。（前回白書内の試算では『車道』の項目内に包括されていた）

番号	変更箇所（ページ数）	変更理由
7	大型構造物（P119～121）	市内のボックスカルバートや擁壁などを改めて定義付け、今後維持管理にかかる費用等を想定し、組み込むため記載した。
8	法定外公共物（P208）	市で整理している段階の処分状況を記載した。法定外公共物関連については維持管理も毎年計上されるため、改めて項目立てを行い試算した。（前回白書内の試算では『車道』の項目内に包括されていた）
9	人件費（P225）	前回までの道路施設等に掛かる管理費用と人件費を比較するために記載した。
1 0	歳入（P226）	白書に歳入についての記載がされてなかったため、インフラ管理にかかる歳入を改めて整理し、記載した。また、地方譲与税についてもインフラに関わる地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税についても現況を整理するために整理し、記載した。
1 1	管理ボランティア制度（P228）	府中市の道路・公園を無償ボランティアで管理する制度（府中まちなかきさら）について整理し、記載した。
1 2	インフラマネジメントの関心（P229～234）	市で実施した市政世論調査内で、インフラマネジメントについての理解や関心について聴取した結果を記載した。
1 3	経費予測の条件（P236）	橋りょう、立体横断施設、大型構造物は、項目を分けることで、点検についての考えを含めて試算するよう変更した。
1 4	将来経費の予測額（P240）	前は平成22年度を基準と設定していた。維持管理費の予測額は、平成22年度以降に東日本大震災などの影響から、執行額の変動が大きかった。しかし近年は変動が小さくなり、本来インフラに要すべき費用として安定してきたため、平成28年の執行額を維持するように変更し、補修更新費は平成28年度末時点の健全度を維持するように変更した。

番号	変更箇所（ページ数）	変更理由
15	今後のインフラ管理のあり方（一）	前回白書に記載していた今後のインフラ管理のあり方について、計画移行して記載することとし、白書からは削除した。